



こころのケアチーム活動報告 第37

班

Dr.山本

Ns.山本史

PSW有賀

報告内容

- 活動概要
- 37班での新たな状況
 - ①保健所ミーティング
 - ②大船渡精神保健関係者会議
 - ③はつらつ健康教室相談会
- こころのケアチームへの新たな活動
依頼
- その他

活動概要

- 日程：H23/11/15(火)～11/18(金)
- 訪問：11件
- こころの相談室：2件
- 定例ミーティング
- (新)保健所ミーティング
- 大船渡精神保健関係者会議
- (新)はつらつ教室健康相談会

①保健所ミーティング

- 37班より新たに開始。
- 毎週火曜日(到着日)16時より行う。
- 市保健師と、各班毎・定期的に、ケースカンファレンス、活動内容の打ち合わせ等を行い、連絡や情報共有、協力体制を密にする。

○37班では

- 前班終了後の状況確認、新規ケースの依頼、講話等新たな依頼の話し合い、次班以降の予定の確認等。

②大船渡精神保健関係者会議

- 大船渡病院にて月1回行われている。
- 行政、医療機関、派遣チーム等の関係者参加。

○37班では

- 医師参加。
- 岩手県の災害時こころのケア対策策定。
 - * 県こころのケアセンター、地域こころのケアセンターを設置し、現在ケアチームが行っている活動を地域に移行する。
 - * 地域に震災ストレス外来を設置する支援。
- 精神科救急医療体制の見直し。

③はつらつ教室健康相談会

- ・ 介護予防事業として、主に高齢者を対象に、筋力向上、生活機能低下予防を目的として、運動、リラクゼーション、講話等を行う。
- ・ 保健師主体にて集団での血圧測定、運動等の後、個別相談に応じる。

○37班では

- ・ 末崎ふるさとセンターにて行なわれ、看護師が参加。
- ・ はつらつ教室終了後の個別相談を2名が希望し、実施。
- * 「こころの相談」に抵抗のある人もいるため、「健康教室」に付加した相談としてハードルを下げる。
- * 個別の問題把握や全戸訪問が難しいため、集団の場を利用し、こころのケアの必要な人の吸い上げを図る。

こころのケアチームへの 新たな活動依頼

- ・ 健康教室相談会
- ・ 社会福祉協議会主催の「サロン」
- ・ ボランティアグループの研修会
- ・ ・ ・ 等での講話、個別相談

- * 医療チームが参加することで、地域の参加者の増加を図る。
- * 集団を対象とした情報提供。
- * ハードルを下げた参加の場から、支援の必要な人の吸い上げを図る。

その他

- 朝晩は気温が氷点下となり、寒さが厳しくなってきた。
- 路面の凍結の可能性が出始めている。
- 肺炎等も増え始め、支援者の健康管理が求められている。
- 仮設住宅では、干し柿が吊るされていたり、白菜が干されたりしている場面を多々見かけ、畑仕事に行っているという声も多く聞かれた。

